

アメリカ 2



# 留学体験談

先輩が語る！

所属：社会・国際総合学類4年次3年

留学した時期・学年：2014年8月～2015年5月・4年次3年

留学した大学：オハイオ州立大学

留学先での専攻・所属：国際学 (School of International Studies)

奨学金の有無: 有り

奨学金の名前：環太平洋地域交流・相互理解推進学際型プログラム

## 【留学について】

### Q1. 留学の目的、動機などを教えてください。

- 語学力の向上のため
- 海外生活を体験してみたかったため

### Q2. 留学先にその大学（国）を選んだ理由を教えてください。

- アメリカ最大規模の大学で、学生数も多かったため
- 中西部の日本人の少ない地域で生活してみたかったため

## 【大学について】

### Q1. 留学した大学の校風を教えてください。

州外や海外からの学生も多く、学問やイベントに対する学生の意識が強く感じた。またフットボールの名門校でもあり、大学のチーム応援にはかなり熱が入っていた。

### Q2. 留学した大学での学生の様子を教えてください。

平日や夜遅くまで図書館で勉強する学生が多い反面、週末になるとパーティーやスポーツ観戦で盛り上がるが多かった。日本人留学生は少なかったが中国人学生が非常に多く、中国人に間違われることもあった。

### Q3. 留学した大学での留学サポートについて教えてください。もし利用していたら、その様子も教えてください。

チューター制度はなく基本的に個人行動だった。留学生用の学生寮枠もなかったため自分でアパートを探した。交換留学生という枠にとらわれず、海外学生のためのイベントが季節ごとに行われ頻繁に参加した。（ハロウィンパーティー、ショートトリップ、ポットラックなど）

### Q4. 留学先で入っていたサークルなどがあれば教えてください。また、どのような活動をしていましたか。

留学生以外の友人が欲しかったのでダンスサークルに所属した。学期末には発表会があり、サークルメンバー全員の前でダンスを披露した。また日本人学生団体や日本語サークルにも参加し、アメリカ人学生に向けたソーラン節の披露、日本文化についてのプレゼンなどを行った。

## 【学習について】

**Q1. 留学先ではどのような授業を取っていましたか。授業数も覚えていたら教えてください。**

専攻分野である国際学・開発学などを中心に、年間7つの授業を履修した。中には「チョコレートの科学」(Chocolate Science)、「ジェンダーとポップカルチャー」(Gender and Sexuality in Pop Culture)など珍しい授業もあり全体的に内容が面白かった。

**Q2. 留学先で一番印象に残っている授業はどの授業ですか。簡単に内容も紹介してください。**

「平和学」(Introduction to Peace Study)の授業がもっとも印象的だった。教授の話や講義テーマが惹きつけられるものばかりで、アメリカの授業の面白さを知ったきっかけになった授業。

**Q3. 筑波大学での授業の様子と比較して、留学先での授業はどうでしたか。気づいた点があれば何でもよいので教えてください。**

授業が学生にテストのフォーマットを提案させるなど、教授と学生のやり取りが日本では考えられないほど活発だった。また日本の大学と違い、自分のノートパソコンを持参し授業ノートを取る学生が非常に多かった。学生による授業中の発言も多く、授業前の予習を欠かせない姿に感心した。

**Q4. 留学先での学習において、もっとも必要だったと思うアカデミックスキルは何ですか。(ライティング、スピーキング、リスニング、リーディング、リサーチスキル、クリティカルシンキング、コミュニケーション能力など)**

ライティングスキルとリーディングスキル。授業毎の課題をこなすためには早く文章を読み理解する力と完結に自分の言葉にまとめるスキルが要求されると感じた。スピーキングやリスニング能力は現地での訓練が必要で、留学前に日本でどれだけ準備しておいても足りないと感じた。

**Q5. 上記に回答した内容で、留学に行く前にできるだけ身につけておけば良かったと思うスキルはありますか。**

銀行での口座開設やアパート契約時に使用する英単語を必要最低限でも覚えておく必要があったと思う。現地でいざ話そうとしたが、単語がわからず焦った。

**Q6. 留学に構えて、どのような準備学習を日本で行いましたか。また、おすすめの学習法があれば教えてください。**

**【語学について】**

スマホでアメリカのラジオ番組を聞き、英語の速さ、発音に慣れた。ほかはTOEFLの対策勉強でカバーできていたと思う。

**【語学以外について】**

同じ学校や国に留学していた先輩と連絡を取り、現地で必要なものや留学手続きのノウハウを得ていた。アメリカ留学のための留学公式本も購入したが、インターネットでの情報をもっとも新しく確かだったので、あまり本は活用できなかった。

**Q7. 留学先での指導員、もしくは授業の担当教員とのコミュニケーションはどのようにでしたか。なにか気づいた点があれば教えてください。**

留学先での大学では担当教員が一人おり、留学前、留学中と連絡を取りあった。親身になって色々サポートしてくれ頼りになった。

**【ライティングについて】**

**Q1. 留学前に、どのようなライティングの学習をしましたか。**

TOEFLのWriting対策勉強を行ったくらいで、他にはこれと言って特別な学習はしなかった。

**Q2. 筑波大学でのレポート（日本語、外国語）と比較して、留学先でのレポートはどうでしたか。**

指定される文量はそれほど多くないものの、レポート提出回数が多く一つ一つ時間がかかる自分にとっては大変だった。毎回の授業後課題としてレポート提出が課される授業も多く、一つのレポート作成だけで、2~3時間かかることが多かった。

**Q3. 学先のレポートで困ったことがあった時、どのように解決しましたか。**

期末課題など重要なレポートのときはアメリカ人の友人に添削を頼んでいた。

**Q4. 留学先にライティングセンター（もしくは類似する学習支援機関）はありましたか。**  
ライティングセンターはあったが利用しなかった。（友人の助けを借りていたため）

**Q5. 上記の期間を利用していたら、その様子を教えてください。**  
なし

## 【生活について】

**Q1. どのような部屋に住んでいましたか。（寮、アパート、ルームシェア、ホームステイ等）**

インドネシア人留学生2人と一緒にアパートで生活していた。

**Q2. その部屋はどのようにして探しましたか。**

ルームメイト募集のフェイスブックページ。

**Q3. 部屋を決めるときの注意やアドバイスなどがあればお願いします。**

新学期前は学生が一齐に動き出すので留学生は早めに部屋やルームメイトを確保すべき。ルームメイトと生活する時は、留学前からしっかりと連絡を取り合い相手の性格や状況を把握してからルームシェアを始めた方が安全。私の場合は学生寮の家賃が高く利用できなかったが、寮費があまり負担にならないようであったら寮を利用すべき。アパートは契約や家具の購入など少し面倒なことが多い。

**Q4. 留学先では、どのようなスーパー、お店を利用していましたか。おすすめやアドバイスがあればお願いします。**

普段はアパートから徒歩5分のスーパー（Kroger）で買い物をしていた。商品の質はあまり良くない気がしたがアメリカ大手スーパーということもあり値段も手頃で買い物しやすかった。月に数回、バスや友人の車で郊外の日本食スーパーに行き、お茶や米を買っていた。学校がある日の昼食は校内のカフェなどを利用していた。学校の目の前にあったギリシャ料理屋やメキシコ料理家が美味しく思い出に残っている。

**Q5. お金の管理はどのようにしていましたか。奨学金や親からの仕送りなど、どのように受け取っていましたか。（現地銀行口座の開設、日本の銀行口座から送金、国際銀行の口座開設、クレジットカードでのATM利用など）**

普段の買い物では日本から持ってきたクレジットカードを使っていた。奨学金はそのクレジットカード引き落としされる口座へ入金してもらっていた。また留学先の学校への支払い、家賃・光熱費の支払いなど高額なものはChase Bankの口座で行っていた。日本からの送金はキャッシュパスポートを利用していたが問題は特になかった。日常生活で現金を使うことはほとんどなかった。

**Q6. 留学先でアルバイトはしていますか。もしアルバイトをしていたら、その様子を教えてください。**

アルバイトはしていなかった。

**Q7. 留学先での人間関係を築くにあたって、大切だと思うことがあれば教えてください。また、日本での人間関係との差異もあればお願いします。**

自分自身少し消極的な性格だったこともあり、人を何かに誘ったり、依頼したりすることが苦手だったが、留学中はあまり考えすぎず、積極的に交友関係を作っていくことが大切だと思う。日本人と異なり包み隠さず意見を言う人が多いので耐性を付けておくことも必要！

**Q8. 大学以外でもコミュニティに参加しましたか。もし参加していればその様子を教えてください。**

広い友人関係を作ることも大切だが、相談に乗れる友人、自分のことを理解してくれる友人を少数でもいいので作ることも重要。また勉強の大変さや異文化の中での摩擦で、気持ちが暗くなったり押しつぶされそうなきがあるので、買物やスポーツなど好きなことで定期的にストレス発散することは必須だと思う。

**Q9. その他、日常生活や人間関係について気づいた点があればお願いします。**

広い友人関係を作ることも大切だが、相談に乗れる友人、自分のことを理解してくれる友人を少数でもいいので作ることも重要。また勉強の大変さや異文化の中での摩擦で、気持ちが暗くなったり押しつぶされそうなきがあるので、買物やスポーツなど好きなことで定期的にストレス発散することは必須だと思う。

## 【治安について】

**Q1. 留学した大学、留学先の街の治安はどうでしたか。**

アメリカ本土内では安全な方だったが、夜の歩きはしないようにと言われた。校内では警察にすぐ連絡が取れるセーフティスポットが数多くあったので安心感はあった。

**Q2.安全に暮らすための注意やアドバイスがあればお願いします。（危険な地域、しないほうがいい行動など）**

外出するときはなるべく2人以上でいたほうが安全。バスなどの公共交通機関にはホームレスや、少し危険そうな人が乗車していることがあるので運転手席に近いところに座ることを心がけていた。

## 【経済面について】

Q1. 留学全体でどれくらいかかりましたか。

約200万円。（筑波大学へ納める学費を除く）

Q2. 留学先での滞在費はどのようにまかっていたか。

（奨学金、仕送り、現地でのアルバイト、留学前のアルバイトで貯金など）

奨学金で生活費の大半をまかなえた。旅行費などは留学前のアルバイトの貯金を使った。

Q3. 1ヶ月の支出について伺います。

項目	現地通貨	日本円
食費	150ドル	
家賃・寮費	405ドル	
光熱費	50ドル	
交通費（通学）		
交際費	100ドル	
旅行費	300ドル	
その他	100ドル	
合計	1005ドル	

# 【留学を目指す人へのメッセージ】

留学中は数多くの壁にぶつかり心が折れそうになることもあります。でも今しかできない経験など開き直って楽しんで来ててください。留学ではきっと思いがけない出会いや体験がたくさんできるはずです。無理をしすぎず、全力で留学生生活を謳歌してきてください。せっかくの機会なので旅行も忘れずに！

【その他】留学に関することでわからないことがあれば何でも先輩たちに聞いてほしい。留学経験者たちも後輩たちをサポートしたいと思っているはず。。。。